

キャリア教育

世界の枠組みが大きな変化を遂げる今、あらかじめ用意された「正解」は、どこにもありません。自ら感じ、考え、問い続けることを通して、オリジナルの答えを見つける力を持つことが大切です。



工業高校でのキャリア教育は、勤労観と職業観や知識・技能をはぐくむスキルを高めるため、勤労観や職業観の育成に重点を置いた基礎的な教育として位置づけています。また、職業教育では、知識・技能の育成に重点を置いた専門的、実践的教育を目指しています。

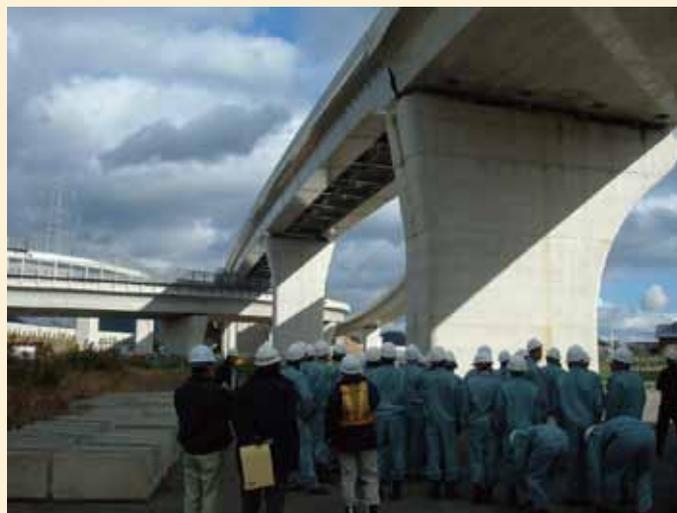
※キャリア教育とは

一人ひとりの社会的、職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促していく教育のことです。



実在の企業が教材です

現代社会の中でさまざまな取り組みを続ける企業の姿をリアルタイムでとらえ、自ら体験することで、社会や経済の仕組みに触れるとともに、働くということの意味や楽しさ、大変さを実感をもって学びます。



工場見学

現場見学



インターンシップ



工場実習・現場見学



キャリア教育

推進のキーワード

キャリアの多様性
視野を広げる
企業との連携
多様な能力を活かす教育



技能五輪全国大会



卒業生と語る会 (OB 講話)



就職講話、進学相談会、外部活力活性化事業 (高大連携事業・模擬授業など)



子供たちに、生涯、色あせることのない力を身につけて欲しい

学校で過ごすわずかな時間の中で、そのすべてを準備させてあげることはできません。

知識、スキル、リーダーシップ、人を思いやる心

高校では、さまざまな挑戦の機会が準備されています



ロボット大会



専門性をいかして地域交流



ソーラーカー



エコ・カー



ドイツ高校生との交流会



ジャパンマイコンカーラリー全国大会

